

平成 23 年度 2 級建築士設計製図試験の講評

「趣味(自転車)室のある専用住宅(木造2階建)」

コスモ建築塾の製図講習会の予想と試験内容(製図講習会は、課題に対応するエスキスが勝負)

試験課題の主な内容と問題点	講習会で指摘した事項と試験の内容
自転車ツーリング	乗用車2台分の駐車スペースは、自転車のツーリングへ行くため、友人が訪問した場合に備えたと考えられる。コスモでは課題(5)が該当する。北側道路で敷地の幅が少ない場合は5コマラインをくずすことで対応すると指摘した(エスキス(2))。
自転車の整備と保管	試験の内容はほとんどの課題で演習済み。問題なかった。
展示	大本命の案として後半戦は北側道路、展示の組み合わせが多かった。プランとして優れているが、出題案としては敬遠された。
仲間との交流とシャワー室	予備室及び和室8畳は課題5, 9, 10, 11, 模擬2, エスキス2で扱い充分演習した。 シャワー室は1階に設けると、2階に浴室が配置される。(模擬1で対応)
敷地図(18m×18m、北側道路)	課題5, 8, 模擬1, 2, エスキス1, 2と後半戦ではほとんどこの形で演習した。
ガーデニング用の庭と家事室	家庭菜園を課題1、家事コーナーをエスキス2で演習した。

今回の試験のエスキスは家事室がすべてとあってよい。4㎡以上とし、主要室なので、廊下からの動線が義務付けされる。ガーデニング用の庭に隣接し、居間、趣味室のテラスより眺められる形なので、平面プランの中心付近となる。居間の隅にコーナーとして設ければ6~8点の減点となる。このエスキスを完成した人は非常に少ないと考えていたが、製図説明会のチェックでは70%以上の人が何らかの対応をしていた。講師として非常にうれしかった。受講生の努力の賜物といえる。この項目以外は非常にオーソドックスであり、北側から5、3、10コマのラインを引いて、東側からLDK、家事室、予備室(和室8畳)、趣味室と並ぶ形となる。駐車場2台は5コマラインをくずして納めれば問題ない。10コマ(4,550mm)ラインを8コマで解くバカマニュアルもあるが、少子高齢化時代は、それぞれの部屋が大きいので、敷地の幅が18mと限られれば、まず困難が伴う。

2級の製図試験は去年から新しい時代に入り、高いエスキス能力が要求され、このような問題が今後主流になると考えられる。